

エコアクション 21

環境経営レポート



TOHTO 株式会社
運用期間：2023 年 7 月～2024 年 6 月
発行日：2025 年 1 月 21 日

1.組織概要

事業所名及び代表者名

TOHTO 株式会社

代表取締役社長 野澤 剛

所在地

本 社 : 東京都品川区南大井 6-25-3 いちご大森ビル 5F

大阪営業所 : 大阪市淀川区西中島 3-7-13 新大阪サクセスビルイースト 501

御殿場事業所 : 静岡県御殿場市板妻字大手 3-9

京浜島事業所 : 東京都大田区京浜島 2-7-2

環境管理責任者、及び連絡先担当者

環境管理責任者 : 野澤 剛 E-mail:t-nozawa@tohto-hydraulics.co.jp

連絡先担当者 : 杉山 渉 E-mail: w-sugiyama@tohto-hydraulics.co.jp

事業活動内容

油圧機器の輸入販売、油圧制御バルブブロックの製作販売

事業規模

売上高 約 16.7 億円 / 2023 年度 (2023 年 7 月～2024 年 6 月)

	本社	大阪営業所	御殿場事業所	京浜島事業所
従業員数[人]	16	4	12	4
延床面積[m ²]	269.10	82.83	569.8	468.79

※2024 年 12 月時点

2.対象組織

登録組織名

TOHTO 株式会社

対象事業所

本 社 : 東京都品川区南大井 6-25-3 いちご大森ビル 5F

大阪営業所 : 大阪市淀川区西中島 3-7-13 新大阪サクセスビルイースト 501

御殿場事業所 : 静岡県御殿場市板妻字大手 3-9

京浜島事業所 : 東京都大田区京浜島 2-7-2

3.環境経営方針

<環境理念>

TOHTO 株式会社は、製造/卸販売業を通じ、環境に配慮した事業活動を行い、エコアクション 21 環境経営システムの運用を基に事業活動を進め、環境に優しい企業を目指します。

<環境活動方針>

- 1.低燃費車両の使用及び営業ルート効率化を図り、CO2 排出量削減に取り組みます。
- 2.社内システムの効率化・継続的改善を行い、ペーパーレス化等に取り組みます。
- 3.節水を進め、水道水使用量を低減します。
- 4.環境関連法規等を遵守すると共に、内外に環境改善への活動を約束し、環境コミュニケーションを通じて公表します。
- 5.環境に配慮をした製品の拡販に努めます。
- 6.グリーン商品購入を推進し、環境に配慮した調達活動を進めます。
- 7.環境方針の掲示や社員指導を通し、全従業員に EA21 環境経営システムへの周知・徹底を進めます。

制定日 2014 年 7 月 1 日

改定日 2016 年 7 月 1 日

TOHTO 株式会社

代表取締役社長 野澤 剛

4.環境経営目標

環境負荷項目		取組内容	2021年度 実績/基準年	2023年度 目標	
CO2排出量 削減	電力 [kWh]	節電	84,186	79,977	基準年-5%
	軽油 [L]	公共交通機関の利用 エコドライブの徹底	5,190	4,930	基準年-5%
	都市ガス [m³]		6	6	基準年-5%
	LPG [m³]	使用量の削減	370	352	基準年-5%
	CO2排出量総計 [kg-CO2]		58,121	55,215	基準年-5%
産業廃棄物 排出量削減	一般廃棄物 [kg]	分別の徹底	816	775	基準年-5%
	産業廃棄物 [kg]	排出量の削減	3,530	3,354	基準年-5%
水使用量削減	上水使用量 [m³]	節水 水道の漏れチェック	605	575	基準年-5%
紙使用量削減	コピー用紙購入量 [kg]	ペーパーレス化 排紙のリサイクル	743	706	基準年-5%

2024年度 中期目標		2025年度 中期目標		2026年度 中期目標	
79,977	基準年-5%	78,293	基準年-7%	75,767	基準年-10%
4,930	基準年-5%	4,827	基準年-7%	4,671	基準年-10%
6	基準年-5%	6	基準年-7%	5	基準年-10%
352	基準年-5%	344	基準年-7%	333	基準年-10%
55,215	基準年-5%	54,053	基準年-7%	52,309	基準年-10%
775	基準年-5%	759	基準年-7%	734	基準年-10%
3,354	基準年-5%	3,283	基準年-7%	3,177	基準年-10%
575	基準年-5%	563	基準年-7%	545	基準年-10%
706	基準年-5%	691	基準年-7%	669	基準年-10%

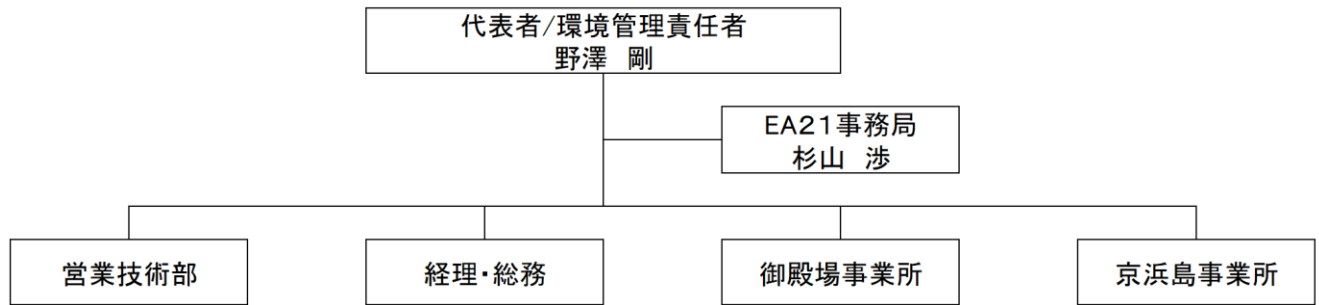
- ・基準年度は、2021 年度（2021 年 7 月～2022 年 6 月）
- ・CO2 排出係数は下記の値を使用
 本社、御殿場、京浜島:東京電力エナジーパートナー（株）の調整後排出係数 0.518kg-CO2/kWh
 大阪:関西電力（株）の調整後排出係数 0.518kg-CO2/kWh
- ・PRTR 制度対象の化学物質の使用はなし。
- ・御殿場事業所にエアコンを導入してから 3 年以上経過し(2021 年 5 月～)、これまでとは傾向の異なる電気及び都市ガス/液化ガスの使用実績のデータを得た。
 よって、2021 年度実績値を基準として目標設定を行っている。
- ・環境に配慮した製品の拡販、自社が提供する製品・サービスについてテーマを上げる。

5.環境経営計画

環境負荷項目		取組内容
CO2排出量 削減	電力 [kWh]	節電
	軽油 [L]	公共交通機関の利用 エコドライブの徹底
	都市ガス [m³]	
	LPG [m³]	使用量の削減
	CO2排出量総計 [kg-CO2]	
産業廃棄物 排出量削減	一般廃棄物 [kg]	分別の徹底
	産業廃棄物 [kg]	排出量の削減
水使用量削減	上水使用量 [m³]	節水 水道の漏れチェック
紙使用量削減	コピー用紙購入量 [kg]	ペーパーレス化 排紙のリサイクル

- ・環境に配慮した製品の拡販、自社が提供する製品・サービスについては展示会への出展及び環境製品を展示、雑誌広告への掲載などで行う予定である。

6.1.実施体制



	役割/責任/権限
代表者	・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境方針の制定 ・ 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備 ・ 環境経営システムの定期的見直しの実施 ・ 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	・ 環境経営システムの確立、実施、継続改善 ・ 環境関連法規の遵守確認 ・ 環境活動レポートの承認
EA21 事務局	・ 環境活動取組のチェック及び評価 ・ それぞれの業務/役割に応じ、必要な教育/訓練を適切に計画/実施 ・ 推進機関である EA21EMS の事務局の責任者として事務局運営 ・ 環境活動レポートの作成
部門責任者	・ 環境経営システムの方針、実施計画を自部門で実施/維持/継続改善 ・ 環境活動の各取組の実施及び達成状況の報告
全従業員	・ 定められた環境方針の理解 ・ 環境活動への自主的な取組

6.2.取組内容

環境負荷項目		環境経営計画	実際の取り組み
CO2排出量削減	電力 [kWh]	節電	節電ステッカーを掲示する。
	軽油 [L]	公共交通機関の利用 エコドライブの徹底	営業回りの順序を走行距離が少ないルートになるように心がける。 公共交通機関を優先して利用し、レンタカーの併用もする。 ポスターや各社用車の燃費を掲示し、エコドライブを意識付ける。(図1)
	都市ガス [㎡]		
	LPG [㎡]	使用量の削減	室温を管理し、無駄のない暖房使用を心がける。
	CO2排出量総計 [kg-CO2]		
産業廃棄物排出量削減	一般廃棄物 [kg]	分別の徹底	可燃ごみ、プラスチック、ビン、カン、ペットボトルに分別する。(図2)
	産業廃棄物 [kg]	排出量の削減	切粉などはリサイクル業者へ出す。
水使用量削減	上水使用量 [㎡]	節水 水道の漏れチェック	節水ステッカーを掲示する。 冷却水管路の継手部分の漏れチェックを定期的に行う。
紙使用量削減	コピー用紙購入量 [kg]	ペーパーレス化 排紙のリサイクル	メールやプロジェクターを利用し、印刷物作成を削減する。 排紙の裏面を再利用する。(図3)

- ・環境に配慮した製品の拡販、自社が提供する製品・サービスについては展示会への出展及び環境製品を展示、雑誌広告への掲載などを行う。



図 1 エコドライブ喚起



図 2 ゴミの分別

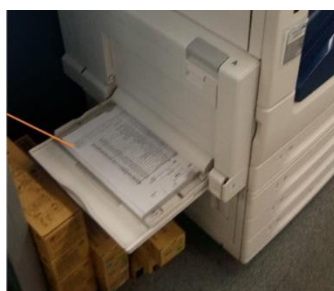


図 3 裏紙の再利用

7.1 計画の実績・取り組み結果とその評価(2023 年度)

環境負荷項目		取組内容	2021年度 実績/基準年	2023年度 目標		2023年度 実績	2023年度 達成の成否
CO2排出量 削減	電力 [kWh]	節電	84,186	79,977	基準年-5%	97,167	×
	軽油 [L]	公共交通機関の利用 エコドライブの徹底	5,190	4,930	基準年-5%	3,779	○
	都市ガス [m³]		6	6	基準年-5%	0	○
	LPG [m³]	使用量の削減	370	352	基準年-5%	344	○
	CO2排出量総計 [kg-CO2]		58,121	55,215	基準年-5%	60,954	×
産業廃棄物 排出量削減	一般廃棄物 [kg]	分別の徹底	816	775	基準年-5%	1,031	×
	産業廃棄物 [kg]	排出量の削減	3,530	3,354	基準年-5%	9,940	×
水使用量削減	上水使用量 [m³]	節水 水道の漏れチェック	605	575	基準年-5%	1,465	×
紙使用量削減	コピー用紙購入量 [kg]	ペーパーレス化 排紙のリサイクル	743	706	基準年-5%	652	○

[主な変化要因と環境配慮製品の取組]

- ・電力使用量の増加については、エアコンを使用する時間が増えたことが大きい。
ただし、夏の平均気温が統計開始以降最高を記録するほどであったため、想定していた部分ではある。
次年度以降も労働環境に考慮しながら節電への取り組みを続けることで貢献をする。
- ・軽油の使用量については、取り組みの成果がきちんと出ているため、今後も継続をする。
- ・一般廃棄物及び産業廃棄物の増加については、京浜島にて不要品の処分をしたことが大きく影響している
と考えられる。今後は減少していく見込みである。
- ・上水使用量の増加については、御殿場事業所での製品生産量が増加し続けていることが主な要因である。
この点については基準年度の見直しも必要になってくるので次年度以降に要検討。
- ・環境に配慮した製品の拡販、自社が提供する製品・サービスについては、
第 6 回 建設・測量生産性向上展 (CSPI-EXPO 2024)に出展し、TSB(油圧マニホールドブロック)の宣伝をしました。当該製品はアルミ材による軽量化や油漏れの少ないバルブを採用して油漏れの少ない利点を生かし、土壌汚染・水質汚濁の防止に貢献しています。
また、油圧・空気圧技術雑誌である油空圧技術にも上記製品や関連製品についての掲載をしました。

7.2.次年度の目標及び計画

環境負荷項目		取組内容	2021年度 実績/基準年	2023年度 実績		2024年度 目標	
CO2排出量 削減	電力 [kWh]	節電	84,186	97,167	基準年+16%	79,977	基準年-5%
	軽油 [L]	公共交通機関の利用 エコドライブの徹底	5,190	3,779	基準年-27%	4,931	基準年-5%
	都市ガス [㎡]		6	0		6	基準年-5%
	LPG [㎡]	使用量の削減	370	344	基準年-7%	352	基準年-5%
	CO2排出量総計 [kg-CO2]		58,121	60,954	基準年+5%	55,215	基準年-5%
産業廃棄物 排出量削減	一般廃棄物 [kg]	分別の徹底	816	1,031	基準年+27%	775	基準年-5%
	産業廃棄物 [kg]	排出量の削減	3,530	9,940	基準年+281%	3,354	基準年-5%
水使用量削減	上水使用量 [㎡]	節水 水道の漏れチェック	605	1,465	基準年+243%	575	基準年-5%
紙使用量削減	コピー用紙購入量 [kg]	ペーパーレス化 排紙のリサイクル	743	652	基準年-13%	706	基準年-5%

未達項目が多数あったため、来期は改めて全項目基準年-5%を目指す。

生産量増加により、水使用量が大きく変化しているので、次年度の様子を見て基準年の更新を検討する。

また、下記の活動は継続する。

環境負荷項目		環境経営計画	実際の取り組み
CO2排出量 削減	電力 [kWh]	節電	節電ステッカーを掲示する。
	軽油 [L]	公共交通機関の利用 エコドライブの徹底	営業回りの順序を走行距離が少ないルートになるように心がける。 公共交通機関を優先して利用し、レンタカーの併用もする。 ポスターや各社用車の燃費を掲示し、エコドライブを意識付ける。
	都市ガス [㎡]		
	LPG [㎡]	使用量の削減	室温を管理し、無駄のない暖房使用を心がける。
	CO2排出量総計 [kg-CO2]		
産業廃棄物 排出量削減	一般廃棄物 [kg]	分別の徹底	可燃ごみ、プラスチック、ビン、カン、ペットボトルに分別する。
	産業廃棄物 [kg]	排出量の削減	切粉などはリサイクル業者へ出す。
水使用量削減	上水使用量 [㎡]	節水 水道の漏れチェック	節水ステッカーを掲示する。 冷却水管路の継手部分の漏れチェックを定期的に行う。
紙使用量削減	コピー用紙購入量 [kg]	ペーパーレス化 排紙のリサイクル	メールやプロジェクターを利用し、印刷物作成を削減する。 排紙の裏面を再利用する。

- ・環境に配慮した製品の拡販、自社が提供する製品・サービスについては、
2024 年 9 月 18（水）～20 日（金）に開催される IFPEX2024 第 27 回油圧・空気圧・水圧国際見本市
に出展し、TSB 油圧マニホールドブロック及びその他製品を宣伝する。

8.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規は以下の通りで、これらへの違反はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去 3 年間ありませんでした。同じく外部からの苦情等も過去 3 年間ありません。

適用関連法規等	遵守状況の確認、評価
東京都環境確保条例	遵守
大阪府生活環境の保全等に関する条例	遵守
大阪市廃棄物及び減量推進及び適正処理及び生活環境の清潔保持に関する条例	遵守
静岡県生活環境保全に関する条例	遵守
使用済み自動車の再資源化等に関する法律	遵守
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	遵守
特定家庭用機器再商品化法	遵守
使用済み小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	遵守

2023 年度において、環境関連法規の違反、訴訟等はありませんでした。

9.代表者による全体評価と見直し・指示の結果

- ・作業環境改善の為に御殿場事業所にエアコンを設置してから 3 年以上(2021 年 5 月～)が経過しました。
プロパンガス使用量の大幅減は継続しています。(年間 CO2 排出量:設置前比約 1/6 以下)
今後も節電を意識することにより、エアコンを設置した効果を増やしていくことを狙います。
- ・社外への訪問時には公共交通機関の利用を勧め、CO2 排出削減に取り組みました。
今後もエコドライブの徹底とともに引き続き効果が出ることを期待しています。
- ・第 6 回 建設・測量生産性向上展 (CSPI-EXPO 2024)へ自社ブースを出展し、
環境に配慮した製品の展示及び拡販を行いました。
社外への宣伝だけでなく、従業員が自社製品の強みを再認識する良い機会となりました。
- ・環境経営方針及び実施体制については現在の内容で取り組みを継続し、変化にも対応した活動を進めたいと考えております。

TOHTO 株式会社
代表取締役社長 野澤剛